

わ

が

街

わ

が

故

郷

大旺鋼球製造(株)と八尾市

大旺鋼球製造(株)と主力工場のある八尾市について紹介します。

〈会社の紹介〉

(八尾工場所在地)

〒581-0053 大阪府八尾市竹湊東3-112

TEL 06-6708-0061



八尾工場

1. 当社は1931年大阪市西区において檜垣商店として個人創業、創業者のイニシャルであるK&Hをブランドにして鋼球の製造販売を開始しました。
2. 1947年大阪市平野区加美南5-13-27に移転(現本社所在地)、株式会社に改組、大旺工機(株)を設立。鋼球専門メーカーとして、本格的に活動を開始しました。
3. 1951年現社名の大旺鋼球製造(株)と改称
4. 1969年八尾市竹湊東3-112に八尾工場完成、本社機能を移転し当社主力工場となり、

小径精密玉軸受用鋼球の本格的生産をスタートさせました。

5. 1991年北日本精機(株)との共同出資によって北海道芦別市に北日本大旺(株)を設立、炭素鋼球の生産工場といたしました。
6. 1995年北日本精機(株)の子会社上海精密軸承(有)との共同出資により上海大旺精密鋼球(有)を設立、中国における鋼球の製造販売を開始いたしました。

〈八尾市の紹介〉

1. 八尾市ってどんなところ？

八尾市は、昭和23年に市制が敷かれ今年市制55周年を迎えた街で、東経135度36分、北緯34度37分に位置し、大阪府の中央部の東にあって、西は大阪市に、北は東大阪市に、南は大和川を境として松原市、藤井寺市および柏原市、東は生駒山脈を境に奈良県に接しています。市の面積は41.71平方キロメートル、総人口は277,282人(1998年5月1日)、世帯数は104,064世帯です。

市のシンボルは花…菊、木…銀杏、鳥…なしです。

2. 八尾市のあれこれ

(1)産業

八尾市の産業は、古くは河内木綿が主要産業として栄えてきましたが、現在では創作活動で見るとなっています。他方、伝統産業とし

でのブラシ製造、撚糸製造業は八尾市の産業を支えてきました。そして現在では、マイクロエレクトロニクスや、バイオテクノロジー新素材の開発、さらに高度な生産システムなどで業界をリードし高いシェアを誇る企業も多く、八尾市の工業を支えているのは、金属機械、電気製品の製造業が中心となっています。

* 伝統産業のひとつに、江戸時代から栄えた河内木綿の撚糸「張り撚り」という技術があり、この製品は主として、沿岸漁業に使う延縄などの釣り糸などを作るのに用いられます。

* 伝統工芸として、「大阪仏壇」の技があります。それは全工程が手作りであること。木彫りに始まり表面仕上げの漆塗りや絵付けそして組立てに至るまで、すべてが手作業で行われています。

* ブラシの生産量…歯ブラシ、洋服ブラシの生産量は日本一。戦前は9割を占め、戦後も6割を占めていましたが、安い輸入品に押され、この比率は低下しているようです。

(2)農業

* 葉ゴボウ（若ゴボウ）は、八尾市の特産品で、春の味覚として人気があります。

* 夏のビールのつまみに欠かせない枝豆は大阪一の生産量です。

(3)交通

* 信貴山ケーブルカーは、昭和5年開通しました。これは日本で最初にできたケーブルカーです。

* 八尾飛行場は、戦後一番早くオープンした小型機専用の民間飛行場です。セスナ機による遊覧飛行もでき、現在も民間飛行場としては日本最大の規模を誇り、大阪市消防局や海上保安庁の基地として、防災の拠点ともなっています。

* 道路は、市の東部に外環状線（国道170号線）、西部に中央環状線と近畿自動車道が並行して走り、そのいずれもが南北に伸び、また市の南寄

りを国道25号線（三重県四日市市から大阪御堂筋梅田新道までの約140km）が走っており、大阪市の中心へは阪神高速道路、奈良県へは西名阪国道（自動車専用道路）など、市をとりまく道路環境は充実しています。

(4)文化

八尾市には長い歴史の中の貴重な文化財や史跡が数多く残っています。

* 高安城址…1999年に八尾市と奈良県の境界である生駒山脈の南端にある高安山において、大和朝廷が中国の唐の侵攻に備えて、都を守る砦として667年に天智天皇が築いた高安城の城壁とみられる石垣の一部が発掘されました。日本書紀によると、この時期同じ目的で対馬、北九州、瀬戸内の要所にも同様の山城が築かれていましたが、高安城は王城の地、飛鳥を守る最後の砦として重要な位置を占めていました。城は34年間維持され、大宝元年（701年）廃城となったらしいです。また高安山の山頂のすぐ西に大阪管区気象台の気象レーダ観測所があって、西日本の気象観測、特に台風の見張り番として活躍しています。

* 大聖勝軍寺…棕樹山大聖勝軍寺と称し、高野山真言宗に属し、叡福寺の上の太子に対して、下の太子と言います。聖徳太子が、物部守屋と



大聖勝軍寺

の戦さに四天王像を作って戦勝祈願を行い、勝利したので、ここに一寺を建てて勝軍寺と称し

たといわれています。寺内には、太子が身を隠して危機を逃れたという棕の木や物部守屋首洗池が残され、周辺にも鎧塚、稲城跡、守屋墳など伝説にまつわる数々の史跡があります。



聖徳太子と四天王像

* 顕証寺…室町時代の文明2年（1470年）に蓮如が八尾の久宝寺村で親鸞の教えの布教を始め、西証寺（後の顕証寺）を開きました。石山本願



顕証寺

寺を起こす26年前のことです。天文10年（1541年）頃、この顕証寺を中心とした自治都市が誕生しました。二重の堀や土塁で四方を固めた久



蓮如上人像

宝寺寺内町で、往時がしのばれる町並みが今も現存しています。蓮如は本願寺第八世で、親鸞聖人九代目の子孫です。

* 常光寺…初日山と号し、臨済宗南禅寺金地院末、八尾地藏で名高い。行基の創建で、南北朝の戦乱に焼かれ、元中2年（1385年）復興しました。天正17年（1589年）豊臣秀吉から病氣平癒の祈禱料として、毎年5石宛現米の寄進を受けました。元和1年（1615年）大阪夏の陣には金地院崇伝の抱え寺として保護され、藤堂高虎は方丈の縁側で敵の首実験をしました。今にその縁板は血天井として残されており。徳川家光以降歴代将軍から朱印状を受けています。また、足利義満内書をはじめ古文書が多数あります。なお、庫裏の前に永禄1年（1558年）の石仏があります。例年4月24日の大般若会と8月23～24日の地藏盆は名高く、河内音頭による盆踊りは河内の名物です。

* その他…弓削神社、お初徳兵衛の墓、水呑地藏、愛宕塚古墳、大阪百景の玉串川など多数の史跡や文化財が点在しています。

(5)言葉

八尾市周辺の方言である河内弁は、日本一ガラが悪いと世間では言われていますが、今東光の原作になる「悪名」によって誇張されて一躍、有名になったのでは。

* 河内弁辞書（ほんの一部です）

あかん…だめ

あじない…不味い、美味しくない

あらくたい…荒っぽい

あらへん…ありません

あんだら…馬鹿

いかき…ざる、かご

いちびる…ふざける

いね…帰れ

おんどれ…お前

けったくそ悪い…気分が悪い

ごんた…腕白、悪者

しばく…叩く、打つ

じゃまくさい…面倒くさい

つろく…調和

てご…いたずら

どいつ…誰

どつく…殴る

ほげた…口答え

ほたえる…ふざける

ようけ…たくさん

わい…自分

われ…お前

(6)八尾出身の有名人

今 東光（作家）、天童よしみ（歌手）、大月みやこ（歌手）、河内家菊水丸（河内音頭）、榊莫山（書家）、桑田真澄（野球選手）、豊川悦司（俳優）、ジミー大西（画家）などなど。

（大旺鋼球製造株 田辺 勉）

